



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2023年1月号ブリテン

通算第138号 2023.1.30



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主題 (Theme)

国際会長: (IP) K・Cサミュエル (インド) 「フェロシップとインパクトで次の100年」
アジア太平洋地域会長: (A・P) チェン・チ・ミン (台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
東日本区理事: (RD) 佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
北東部長: 大久保 知宏 (宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「活動の協働を進め、クラブの活性化を図ろう」

今月の聖句

主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いていても疲れない。

イザヤ書 40章31節

加藤 雄一

巻頭言 「デビュー」

布宮圭子

新しい年も気付けば間もなく2月、毎日があっという間です。大変ご無沙汰しております。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年3月めでたく定年退職を迎えました。約40年、YMCAの職員として過ごしました。我ながら驚くばかりです。YMCA 幼稚園、保育園、子どもたち、保護者の皆さん、そして職員の皆さんとの沢山の思い出は何ものにも代えがたい大切な宝物となりました。また YMCA の職員だからこそ他の幼児教育現場では味わうことのできない経験もさせていただきました。

しばらくゆっくりしてから今後(老後)のために断捨離を始めようと考えていましたが、気が付けばまた仕事を始めていました。現在は、仙台市内の公立小学校で補助員という立場で1日6時間働いています。YMCA 以外で働いたことがなくとても心配でしたが、これまでの経験や学びを活かし第二の職場デビューとなりました。小学生の面白さ、学校教育の難しさ、やりがい等々様々なことを感じています。小学校で働くことで改めて YMCA の保育の良さをしみじみ感じています。一人一人が大切にされ、違いを尊重され自由な心持で自分らしく育てられたYMCAの子どもたちの生き生きした姿を思い浮かべれば、YMCA の保育に胸を張る毎日です。子どもたちを取り巻く環境は決して良いことばかりではありませんが、未来を創る子どもたちに寄り添っていこうと思います。まだまだ学ばなければ…頑張ります。

2022～2023 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	E M C	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	D B C	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	多田 修	D B C	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
副 会 計	本野日出子	ユース	佐藤 剛	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会 計 補 佐	多田 純子	ユース	清水川 洋	メネット会	加藤 真紀子
監 査	高篠 伸子	YMCA サービス	門脇 秀知	メネット会	門脇 たまえ
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	佐藤 善人	担当主事	増山 和憲
C S	本野日出子				

1月第1例会（仙台・石巻4ワイズメンズクラブ新年合同例会）強調月間：EMC - MC							
在籍者	15名	出席者	9名	メイキャップ	0名	出席率	60%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	4クラブ新年合同例会 42,046円		

◆1月第2例会報告◆

日 時：1月11日（水）18：30～

場 所：仙台YMCA立町会館

参加者：阿部メン、加藤研メン、門脇メン、加藤雄一メン、菅野メン、加藤メネット、多田メネット、増山

・菅野会長より「新しい年を迎えた。苦しい時代となっているが、今後の広瀬川ワイズメンズクラブについて話していきたい。」という挨拶があり、新年1回目の例会が始まりました。

コロナ禍で、様々なことが中止になっている中で、1月26日（木）に4クラブの合同新年会が開催されるので、都合がつけばぜひ参加して欲しいとの事でした。今後の広瀬川ワイズメンズクラブについては、2月の例会で話し合われることになり、YMCAからも4つのワイズに働きかける発信が必要。職員とワイズが知り合える工夫が必要など、今後のヒントとなる話が行われました。

閉会挨拶では、加藤研メンより、テレビで放送された、ウクライナの子どもの事について話され、ロケット弾を見たり、空襲警報により眠れない状況にあること。そのような状況の子どもたちを安全なエリアに連れて行きキャンプをした時に心が開放され「安心して眠れる。自由に過ごせて幸せだ。」と話していたとの事でした。あたりまえの事があたりまえではない状況にあることを知って欲しいとの言葉をいただき閉会となりました。

報告：増山

◆仙台・石巻

4ワイズメンズクラブ新年合同例会①◆

日 時：1月26日（木）18：00～

場 所：TKP ガーデンシティ

参加者：阿部メン、加藤研メン、門脇メン、加藤雄一メン、菅野メン、佐藤善人メン、多田メン、村井メン、加藤メネット、多田メネット、増山
・仙台・石巻4ワイズメンズクラブ新年合同例会は1月26日に仙台アエル21階「TKP ガーデンシティ」で開催され、10年に1度といわれた最強寒波の中、4クラブ合わせて35名の方々が出席されました（当クラブからは11名、4クラブの中で最多出席とのこと）。

当クラブ菅野会長の司会で会は進められ、会食を共にしながら、クラブごとに出席者の紹介、スピーチなど盛りだくさんの内容で、コロナ禍の中しばらく全体で集まる機会を見送っていましたが、久しぶりに懇親を深める場となりました。

☆4クラブ新年合同例会のニコニコは、42,046円となり、国際・地域協力募金へ献金することになりました。



報告：多田メン

菅野会長『コロナ独り言』

新年にはふさわしくないかも知れませんが、思うことを書かせていただきます。

「戦う」「打ち勝つ」「共に生きる」

これは、「戦争」についてではなく、「コロナ」についてニュースでよく見られる・聞かれる言葉です。コロナが現れて3年を過ぎ4年目に入ります。このままでは4年ごとのオリンピックと並んでしまうかなとも思います。

3年前に「コロナ」という言葉を初めて聞いたときは、「不衛生なよその国のこと」くらいに聞き流していました。それが昨年末には年賀状を取り交わす人や定期的に顔を合わせる人の本人や家族が感染したという状況に変化しました。連絡のない方も含めて推し量ると知人の100名に2人くらいは感染したのかと思います。10日足らずで比較的簡単に回復する方も多いようですが、毎日のように亡くなる方も報道されます。私たちがどう対応すればいいのか考えました。あくまでも私の私見ですのでワイズメンズクラブとは関係ないことを前提に。まずは、コロナに「感染しないこと」、「感染させないこと」に誠実であるべきです。自分が感染しないように努力することは大して難しくありません。きちんと予防して生活すればかなり感染から遠ざかれます。

一方、感染させないほうは少し難しいでしょう。感染される方の体調や既往症が良くわからないからです。外見は元気そうでもコロナに弱い病気を持っている方がいるかも知れません。高齢でコロナに弱い体質の方がいるかも知れません。会うたびに、「あなたはコロナに弱いですか？」とも聞けません。まして、「家族にコロナにかかった人はいませんか？」とは。私は恐れずに、「コロナは怖いですね。周りでコロナ感染が多くなりましたね。」とサラリと挨拶代わりに話します。これでコロナが相手と共通の話題にもなります。そして、「お互い注意しましょう」と締めくくります。決して、コロナと「戦う」「打ち勝つ」「共に生きる」の考えでなくても十分対応が出来ます。

1日も早くクラブが正常な活動ができる日の来ることを祈ります。

菅野 健

理事メッセージ

2022-2023 年度 東日本区理事

佐藤 重良（甲府21）

あけましておめでとうございます。今年もまだコロナが終息しておりませんが、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の会員として、公平で持続可能な世界を築くために、互いに刺激し合い・親睦を深め・助け合ってYMCAに・地域社会に積極的に奉仕活動を実施して行きましょう。現状では、徐々にリアルでの例会・会議・行事が実施されてきました（対策を厳重にして）。今後とも感染防止対策をしっかりと実施して、可能な限り、リアルで実施したいものです。今年度は残すところ6ヶ月ですが、大きなイベントが3つございます。2月4日5日、神戸で開催の東西日本区交流会（ワイズ設立100周年・東西日本区25周年をお祝いする大会）・台湾でのワイズ設立100周年祝う国際祝賀会（3月10日から12日まで台北にて）・毎年実施の東日本区大会（6月3日・4日・山梨県甲府市）です。また今年度の活動（目標達成）も道半ばです。4事業（CS・Yサ／会員増強／国際・交流／ユース）がございしますが、目標と定めた事項を達成するための、ご協力・ご支援もよろしくお願い申し上げます。中でも最大の課題は会員増強です。会員増強の特別委員 Change!2022 委員会は栗本委員長のもと、3年半の長い間、活発な活動をしてまいりましたが、昨年12月で規定により終了となりました。活動の成果として、Change!2022 ニュースは42号まで発刊（一度の休刊もなく）されました。このニュースは会員からの経験談から寄稿された、会員増強の極意ともいえるような記事も沢山あります。また今すぐ使用できる貴重な会員増強の資料も、数多く蓄積されました。長い間の活動ありがとうございました。今後は、EMC 委員会を拡大 EMC 委員会として、会員増強の推進をしてまいります。年初の目標は純増（退会者もいますので）60名としておりますが、12月末で達成度は22%です。目標達成のため退会者を少なくしてください。6月末までに各クラブ2名の会員増強をお願いします。新クラブ設立も、引き続き活動をお願いします。他の3事業はクラブライフを楽しみながら、未来に向け、魅力あるワイズ活動となりますよう推進してください。今年も親睦を深め・健康に留意して、

YMCA のため、地域社会のため、私たちが必要としている人のため、貢献してまいります。

YMCA 通信

- ◆国際・地域協力募金の1つとして販売していた、新堂みかんは完売いたしました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
- ◆2月22日（水）はピンクシャツデーです。仙台YMCAでも、ピンクの物を身に付け、いじめに対して向き合いながら、各施設・部門で取り組んでいきます。



2月の予定

- ◆2月1日（水）
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会
- ◆2月11日（土・祝）
仙台YMCA全体職員研修会
- ◆2月15日（水）
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会
- ◆2月22日（水）
ピンクシャツデー

【編集後記】

移動制限のない正月でしたが、今年も帰省せずに年末・年始を仙台で過ごしました。ここ数年、帰省していないことに親不孝者だと実感しつつ、夏には何とか帰省したいなと思っています。

【K・M】



4クラブ合同例会② 素敵な写真集



4クラブのパナー写真



左回り：加藤研メン、佐藤善人メン
三上メン（仙台クラブ）、門脇メン



3・11 子ども文庫読み聞かせ



豪華なお弁当